

「東京と地方が共に栄える、真の地方創生」の実現を目指して ～東京都総合戦略～



東京都

東京都総合戦略の位置付けと策定の考え方

位置付け

「まち・ひと・しごと創生法」第9条の規定に基づく、「都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略」として策定

策定の考え方

「東京都長期ビジョン」（平成26年12月策定）で掲げた目標や政策を基本に、特に「東京と地方の共存共栄」に焦点を当て、「東京と地方が共に栄える、真の地方創生」の実現を目指す

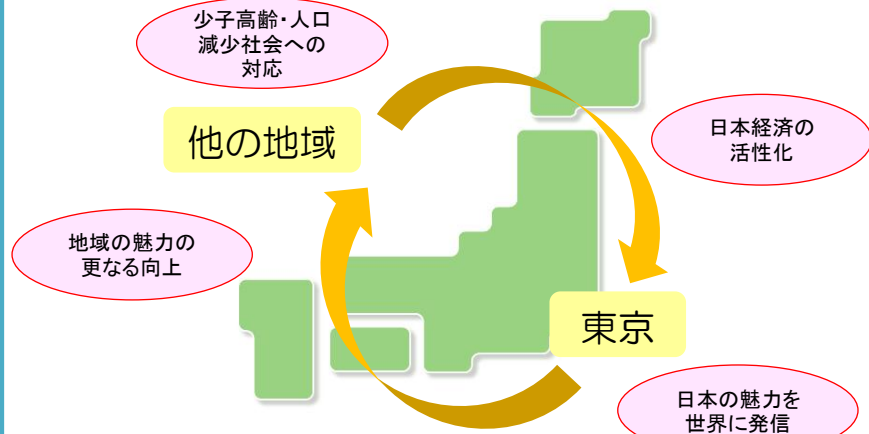
対象期間

2015（平成27）年度から2020（平成32）年度までの6か年（2020年大会を見据える）

東京都が目指す地方創生

「東京と地方が共に栄える、真の地方創生」の実現

- 東京と他の地域が、それぞれの持つ力を合わせて、共に栄え、成長し、日本全体の持続的発展へ



少子高齢・人口減少社会に正面から向き合う

- 出生率を向上させ、人口減少に歯止め
- 高齢者が地域で安心して生活できる社会
- ワーク・ライフ・バランス
- 全ての人が活躍できる社会



「東京と地方が共に栄える、真の地方創生」の実現に向けた取組

真の地方創生の実現に向けた3つの視点

視点① 「東京と地方」の共存共栄

東京と他の地域が、それぞれの持つ魅力
を高め、互いに協力し合うことにより、
共に栄え、成長する

視点② 首都・国際都市として更に発展し、 日本経済を活性化

東京が首都・国際都市として、更に発
展し、日本経済の持続的成長を支える

視点③ 少子高齢・人口減少社会に対する 東京の挑戦

少子高齢・人口減少社会の到来に真正面
から向き合い、人々の希望が叶う社会を
実現する

重点的な政策を選び出し、地方創生に向けた都の考え方、姿勢を明瞭化

国総合戦略を勘案し、基本目標に沿って、「東京都長期ビジョン」で掲げた目標や政策を体系化

基本目標 1 世界をリードし、発展し続ける国際都市・東京（東京ならではの観点）

基本目標 2 誰もが希望を持ち、健やかで生き生きと暮らせる都市・東京（「ひと」「しごと」の観点）

基本目標 3 安全・安心で、将来にわたって持続可能な都市・東京（「まち」の観点）

視点① 「東京と地方」の共存共栄（取組例）

全国各地と連携した産業振興



<2020年大会の開催を契機とした
ビジネスチャンスの拡大>



<東京味わいフェスタ>

「東京と地方」の双方の魅力を生かした観光振興



<「東京と地方」の連携イメージ>



<都庁展望室における日本全国物産展>

2020年東京オリンピック・パラリンピック 競技大会を契機とした各地域の活性化



<未来(あした)への道1000km縦断リレー>



<ボランティア活動の気運醸成>

東京マラソンでのボランティアの様子(写真提供)東京マラソン財団

「東京と地方」が連携した芸術文化振興の展開



<東京キャラバンの日本各地での展開>

「東京キャラバン」公開ワークショップショーケース 撮影:鈴木穰蔵



<アール・ブリュットの巡回展(イメージ)>

「ヒューマンライツ・フェスタ東京2015」アール・ブリュット美術展

視点③ 少子高齢・人口減少社会に対する東京の挑戦（取組例）

安心して子供を産み育てられるまちの実現

- 保育サービスの拡充による待機児童の解消
- 保育人材等の確保・育成・定着支援
- 結婚・妊娠・出産に関する支援の充実
- 子育てしやすい環境の整備
- 特別な支援を要する子供と家庭への対応強化



高齢者が地域で安心して暮らせる社会の実現

- 地域包括ケアシステムの構築
- 高齢者の施設やすまいの整備
- 介護人材の確保・育成・定着支援
- 認知症対策の推進



全ての人が活躍できる社会の実現

- 非正規雇用者への支援
- 男女ともにワーク・ライフ・バランスの充実
- 若者の就業促進
- 高齢者の多様な働き方の推進
- 女性の活躍推進



豊かで快適な住環境の創出

- 良質な住宅ストックと良好な住環境の形成
- 空き家の利活用
- 集約型地域構造への再編
- 大規模団地の再生

